

令和4年8月7日

関係各位

北海道バドミントン協会
理事長 河崎 正紀
旭川地区バドミントン協会
理事長 原 拓也

北海道バドミントン選手権大会における 敗者審判について（お願い）

日頃より本会の事業に対し、ご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、8月24日（木）～27日（土）まで、旭川市で開催されます第75回北海道バドミントン選手権大会に関わる運営について、敗者審判（主審・線審）業務を参加者の皆様にお願ひしたく考えております。

基本的に敗者審判制による運営は、例年通りですが、開催地での一般主審の確保が平常日であることから困難であること、高校においては夏季休業が終了し授業が再開していること、また新型コロナウィルス感染者数が拡大傾向にあるため補助生徒の確保が困難であること等から、十分な人員配置が非常に厳しい状況にあります。

以上のことから、今大会においては次のように運営させていただきたいと考えておりますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

【敗者審判制の運用について】

敗者については、主審と線審の業務をお願いします。

①高校生～主審は顧問、線審は選手をお願いします。

※ダブルス敗者2名は線審、シングルス敗者1名は線審をお願いします。

もう1名の線審を出せる場合はお願いします。

②一般・大学生～主審および線審をお願いします。

※ダブルス敗者2名のうち1名は主審、1名は線審をお願いします。

シングルス敗者1名は主審をお願いします。線審を出せる場合はお願いします。

◎上記①・②について、主審に入れない場合および線審に入れない場合は、開催地区協会ですべて補充しますので、本部席にお申し出下さい。）

